



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 アイビーシー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3920 URL <https://www.ibc21.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 裕之

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス本部長 (氏名) 松本 一彦 (TEL) 03-5117-2780

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績 (2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	393	4.7	△17	-	△13	-	△8	-
2023年9月期第1四半期	375	16.3	14	-	20	-	14	-

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 △23百万円 (-%) 2023年9月期第1四半期 △20百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	△1.46	-
2023年9月期第1四半期	2.63	2.63

(注) 1. 2024年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,977	1,770	59.4
2023年9月期	3,264	1,827	56.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,770百万円 2023年9月期 1,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	6.00	6.00
2024年9月期	-	-	-	-	-
2024年9月期 (予想)	-	4.00	-	4.00	8.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	940	9.5	35	△66.0	41	△64.9	29	△63.6	5.24
通期	2,000	5.2	220	3.7	243	3.8	166	135.9	30.02

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	5,723,600株	2023年9月期	5,723,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	194,159株	2023年9月期	194,159株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	5,529,441株	2023年9月期1Q	5,529,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績に先立ち、令和6年能登半島地震により被災されました皆様に心より、お見舞い申し上げます。被災地域での一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスに係る行動制限の解除を受けて社会活動の正常化に向けた穏やかな回復が続きました。一方ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中国の不良債権問題の悪化による不動産市場の低迷や円安、物価上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な厳しい状況になりました。

企業においては、これまでの少子高齢化に伴う労働人口の減少や働き手ニーズの多様化に加え、働く場所にとられない新しい働き方の定着、生成AIの急速な進展等に伴い、業務プロセスの効率化や自動化等の推進によるデジタルトランスフォーメーション（DX）や、さらには地球にやさしい環境を追求するグリーントランスフォーメーション（GX）がますます重要になってきています。自動車や鉄道等の交通産業、金融機関、電力・ガス等のインフラ産業、自治体をはじめとする公共機関など、すべての事業体でITを活用したトランスフォーメーションの重要性がさらに高まるとともに、セキュリティ対策が併せて最重要テーマとなっております。

このような環境下で当社は、長年当社の製品をご利用いただいているお客様へのサービス拡充およびネットワークやセキュリティ対策のコンサルティングの強化をおこない、さらにパートナー企業様との連携分野では自治体・教育委員会・大学をはじめとしたお客様におけるITシステム管理強化支援も実施してきました。

「ITコストの最適化」「IT資産管理の効率化」に寄与する、自社開発のITシステム性能監視/情報管理ツール「System Answer シリーズ」の機能拡充も図ってまいりました。昨年9月にリリースした、PCやスマートフォンなどのユーザー端末からクラウドサービスまでのレスポンス体感を可視化するオプション機能「CX監視オプション」の拡販強化を図るとともに、さらなる操作性、運用性の向上に向けた機能強化の開発を実施してまいりました。さらに、導入いただいた機器の脆弱性情報が公開された際のパッチ適用、コンフィグ管理、機器故障時の連絡や障害時の切り分け支援等を行う「IBC Careサービス」の提供(2024年1月リリース)に向けた準備を進めてまいりました。24時間365日の監視サービス「SAMS」とともに、情報システム部門の人手不足をサポートして参ります。また、昨年11月には当社初めてのプライベート展示会を開催し、多数のお客様にご来場いただきました。

当社グループは、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。ソフトウェア・サービス関連事業の内、当社におけるITシステム監視関連に係る売上区分別の業績は以下のとおりです。

ライセンスの販売については、System Answerを導入、運用されているお客様の更新や最新のSystem Answerへの切替えを多く実施頂くとともに、ネットワークの見直しに伴う物販を多く頂くことができました。その結果、ライセンス販売については売上高161,951千円（前期比2.7%増）、サービスの提供については売上高126,817千円（前年比4.2%減）、その他物販等については売上高79,530千円（前期比26.8%増）となりました。また、連結子会社の株式会社サンデーアーツにおきましては、若干の黒字となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高393,201千円（前期比4.7%増）、営業損失17,376千円（前期は14,283千円の営業利益）、経常損失は13,446千円（前期は20,894千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,049千円（前期は14,568千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、2,977,862千円（前連結会計年度末は3,264,088千円）となり、286,226千円減少しました。その主な要因は、棚卸資産が24,528千円増加した一方で、売掛金が323,021千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,207,775千円（前連結会計年度末は1,436,894千円）となり、229,119千円減少しました。その主な要因は、未払法人税が62,499千円、長期借入金が24,999千円、その他流動負債が111,791千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,770,087千円（前連結会計年度末は1,827,194千円）となり、57,107千円減少しました。その主な要因は、利益剰余金が41,226千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月14日付「2023年9月期決算短信」において公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,621,738	1,603,033
売掛金	641,267	318,246
棚卸資産	30,053	54,582
その他	39,427	59,119
流動資産合計	2,332,486	2,034,982
固定資産		
有形固定資産	34,443	35,709
無形固定資産		
のれん	16,582	11,608
その他	29,780	33,072
無形固定資産合計	46,363	44,681
投資その他の資産		
投資有価証券	500,758	482,162
保険積立金	263,872	283,835
その他	94,165	104,491
貸倒引当金	△8,000	△8,000
投資その他の資産合計	850,795	862,490
固定資産合計	931,602	942,880
資産合計	3,264,088	2,977,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,227	83,380
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	109,996	106,246
未払法人税等	66,655	4,155
その他	293,057	181,266
流動負債合計	1,378,937	1,175,048
固定負債		
長期借入金	50,018	25,019
関係会社投資損失引当金	5,519	5,519
その他	2,419	2,188
固定負債合計	57,957	32,726
負債合計	1,436,894	1,207,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	443,230	443,230
資本剰余金	421,174	421,174
利益剰余金	1,129,458	1,088,231
自己株式	△221,114	△221,114
株主資本合計	1,772,748	1,731,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,446	38,565
その他の包括利益累計額合計	54,446	38,565
純資産合計	1,827,194	1,770,087
負債純資産合計	3,264,088	2,977,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	375,481	393,201
売上原価	109,397	135,105
売上総利益	266,084	258,096
販売費及び一般管理費	251,800	275,472
営業利益又は営業損失(△)	14,283	△17,376
営業外収益		
受取手数料	365	385
保険解約返戻金	1,549	—
貸倒引当金戻入額	3,055	—
持分法による投資利益	2,582	4,293
その他	23	88
営業外収益合計	7,576	4,768
営業外費用		
支払利息	961	838
その他	4	—
営業外費用合計	965	838
経常利益又は経常損失(△)	20,894	△13,446
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	20,894	△13,446
法人税等	6,325	△5,396
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,568	△8,049
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	14,568	△8,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,568	△8,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,456	△15,880
その他の包括利益合計	△35,456	△15,880
四半期包括利益	△20,887	△23,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,887	△23,930
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年12月14日 定時株主総会	普通株式	22,117	4	2022年9月30日	2022年12月15日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年12月19日 定時株主総会	普通株式	33,176	6	2023年9月30日	2023年12月20日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。